

生徒心得

前文

自由を尊び責任を重んじる本校の生徒は、自主・自律の精神を養い、人間性豊かな成長を目指して、自覚と誇りをもって行動しなければならない。

言動

1. 青少年禁止事項の遵守はいうまでもなく、学校の秩序をみだす等、本校生徒としての名誉を損なう言動があってはならない。

服装

2. 登下校時には、高価、華美にならず勉学にふさわしい身なりを、自らの判断で整えること。

【資料】

本校では昭和49年4月より制服制度が廃止されましたが、その際、生徒会より次のような呼びかけがなされました。

わが校では制服制度を廃止し、服装の選択は生徒個人の主体性を尊重し、まかせることになりました。

制服制度を廃止するにあたって、次のことを呼びかけます。

1. 人の迷惑になる服装はやめよう。
2. 華美にすぎる服装はつつしもう。
(その判断は生徒の主体性にまかせる。)
3. わが校の生徒としての自覚を高めよう。

<細目規定(靴)>

◎底に金具を使用しているはきものを禁止する。

◎ゲタを禁止する。

◎ハイヒールを禁止する。